

2022 年 6 月 8 日

報道関係各社 御中

大学生が地域の安全に貢献 児童の安全を見守るボランティア団体 「桃パト」の活動とは

【本件ポイント】

- ◎児童 8 人が犠牲となった大阪教育大学付属池田小学校事件から 6 月 8 日 (水) で 21 年が経ちました。
- ◎桃山学院大学では 2014 年より学生ボランティア団体の「桃パト」が地域にある小学校の下校時間に合わせ、**児童の下校を見守るパトロールを実施しています。**
- ◎本学関係者や学生へのインタビューが可能です。



「桃パト」の活動に参加する学生



児童の下校を見守る学生

【詳細】

2001 年 6 月 8 日に児童 8 人が犠牲となった大阪教育大学付属池田小学校事件から 21 年が経ちました。同事件後、各自治体では見守りの強化などの対応がとられています。警察庁のデータによると全国の防犯ボランティア団体の団体数は 46,002 団体と 2016 年の 48,160 団体をピークに減少が続いています。また、ボランティア団体の構成員の平均年代別団体数を見ても、60 代と 70 代が全体の約 7 割を占めているなど、若い世代の防犯活動への参加が課題となっています。

桃山学院大学（大阪府和泉市、学長：中野瑞彦 2022 年 5 月 1 日時点：学生数 6,727 人）では、幼児を狙った犯罪の被害防止を目的に、2014 年に防犯ボランティア団体「桃パト」が発足しました。同団体は主に近隣地域の防犯パトロールを中心に、地域の方々と一緒に、大学付近にある小学校の下校時間帯に通学路に立って、横断歩道での旗振りなど、児童の安全を見守る活動を行っています。現在は約 60 名の構成メンバーで、週 3 回ほど活動を実施しています。代表の学生は「子どもたちの安全を守るために子どもたちの目線に合わせることを心がけています。活動できるメンバーがいない日も、地域の方に報告し、見守り活動のつながりを絶やさないようにしています。」とコメントしており、地域の児童や住民とのつながりを重視した活動を行っています。

以上